



栃木県の経済情勢報告

令和7年7月29日

財務省関東財務局
宇都宮財務事務所

お問い合わせ先
宇都宮財務事務所 財務課
電話番号 028-346-6301 (直通)

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、持ち直している」

項 目	前回（7 年 4 月判断）	今回（7 年 7 月判断）	前回 比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	→

（注）7 年 7 月判断は、前回 7 年 4 月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、緩やかに回復しつつある。生産活動は、横ばいの状況にある。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。

【各項目の判断】

項 目	前回（7 年 4 月判断）	今回（7 年 7 月判断）	前回 比較
個人消費	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	→
生産活動	横ばいの状況にある	横ばいの状況にある	→
雇用情勢	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	→
設備投資	6 年度は増加見込みとなっている	7 年度は増加見込みとなっている	→
企業収益	6 年度は増益見込みとなっている	7 年度は減益見込みとなっている	↘
企業の 景況感	「下降」超となっている	「下降」超となっている	→
住宅建設	前年を上回っている	前年を下回っている	↘
公共事業	前年を上回っている	前年を上回っている	→

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、持ち直していくことが期待される。ただし、物価上昇の継続、米国の通商政策、金融資本市場の変動等の影響に注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「緩やかに回復しつつある」

ホームセンター販売額は前年を下回っているものの、百貨店・スーパー販売額、コンビニエンスストア販売額等は前年を上回っている。乗用車新車登録届出台数は前年を上回っている。また、宿泊や飲食サービスについては緩やかに回復しつつある。このように、個人消費は緩やかに回復しつつある。

(主なヒアリング結果)

- LRT を利用した観光客が帰りに立ち寄ってお土産を購入していくケースが固定化しており、売上高に一定程度の貢献がみられる。(ショッピングセンター)
- 物価高による価格の引上げや、ブランド品の売上げが好調であることから客単価が上昇している。(百貨店・スーパー)
- クーポンやコラボ商品等の各種企画の影響で、おむすびやカウンター商材等が好調。(コンビニエンスストア)
- 消費者の節約志向が高まっており、大容量商品の食品や洗剤の売行きが良い。(ドラッグストア)
- 省エネ家電の売行きが好調であり、少し高価でもランニングコストを考慮して性能の高い製品を購入する人が多くなっている。(家電量販店)
- 天候不順等の影響を受けて扇風機やプール関連商品の売上げが伸び悩んだ。(ホームセンター)
- 人気車種のモデルチェンジにより予約数が増えており、売上げも非常に好調。(自動車販売)
- 消費者の中で近場の外食を楽しむ傾向が強まっており、節約と少々の贅沢を両立させる消費行動がみられる。(飲食サービス)
- ネット予約による割引対応やふるさと納税の返礼品としての宿泊が可能である点が功を奏しており、宿泊客数が増加している。(宿泊)

■ 生産活動 「横ばいの状況にある」

鉱工業生産指数を業種別にみると、生産用機械等が上昇している一方、輸送機械、化学が低下しているなど、横ばいの状況にある。

- 人手不足を課題とする企業が多く、省力化や合理化をメインとする当社製品の受注が増加している。(生産用機械)
- EV シフトによる部品搭載点数の減少や、国外における日本車のシェアが減少しており生産量が減少している。(輸送機械)
- 建設関連に係る当社製品の生産量は前年並みであるが、自動車関連では一部完成車メーカーの生産状況悪化に伴い、当社製品の生産量が減少している。(化学)

■ 雇用情勢 「緩やかに持ち直している」

有効求人倍率、新規求人数ともに底堅く推移しており、雇用情勢は、緩やかに持ち直している。

- 中途採用については、各部門のスペシャリストとなる人材をヘッドハンティングしている。(製造)
- 以前はグループ全体で採用活動を実施していたが、採用者数が想定よりも少なくなっているため、当社においても個別で採用活動を行うこととした。(小売)
- 年間休日数で 120 日以上を求める求職者が増加傾向にあるため、当社も完全週休 2 日制を導入した。(建設)

■ 設備投資 「7 年度は増加見込みとなっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」7 年 4～6 月期

- 7 年度の設備投資計画額をみると、製造業では前年比 14.4%の増加見込み、非製造業では同 36.6%の増加見込みとなっており、全産業では同 19.2%の増加見込みとなっている。

■ 企業収益 「7 年度は減益見込みとなっている」 (全規模) 「法人企業景気予測調査」7 年 4～6 月期

- 7 年度の経常利益(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)をみると、製造業では前年比 19.0%の減益見込み、非製造業では同 3.8%の増益見込みとなっており、全体では同 13.2%の減益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『下降』超となっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」7 年 4～6 月期

- 企業の景況判断 BSI を現状判断についてみると、全規模・全産業で「下降」超となっている。なお、先行きについて、全規模・全産業でみると、7 年 7～9 月期は「上昇」超に転じる見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を下回っている」

- 新設住宅着工戸数をみると、貸家、分譲住宅は前年を上回っているが、持家は前年を下回っており、全体としては前年を下回っている。

■ 公共事業 「前年を上回っている」

- 前払金保証請負金額をみると、県は前年を下回っているが、国及び市町は前年を上回っており、全体としても前年を上回っている。

■ 企業倒産 「倒産件数及び負債総額ともに前年を下回っている」



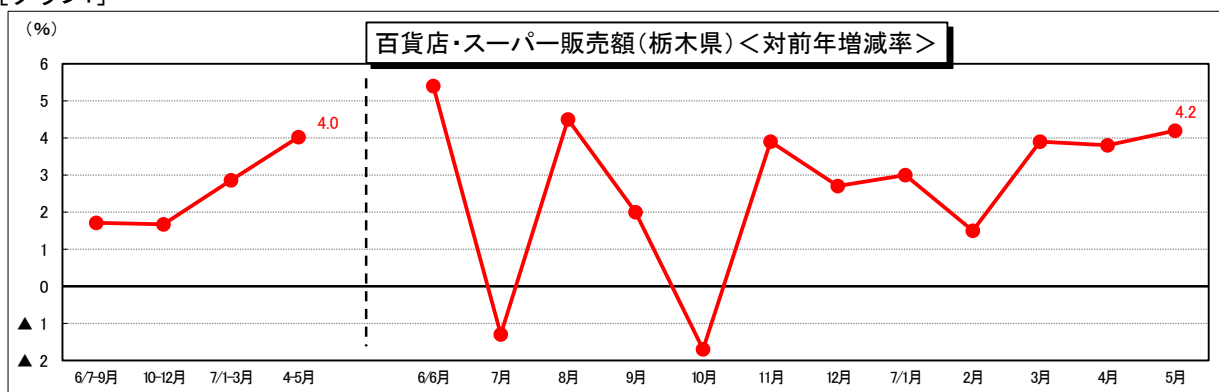
栃木県の経済情勢報告

資 料 編

1. 個人消費

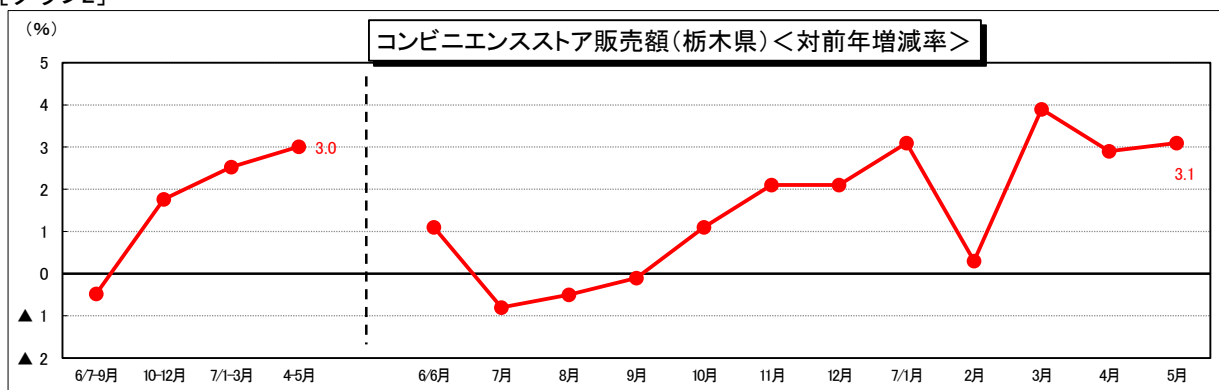
緩やかに回復しつつある

[グラフ1]



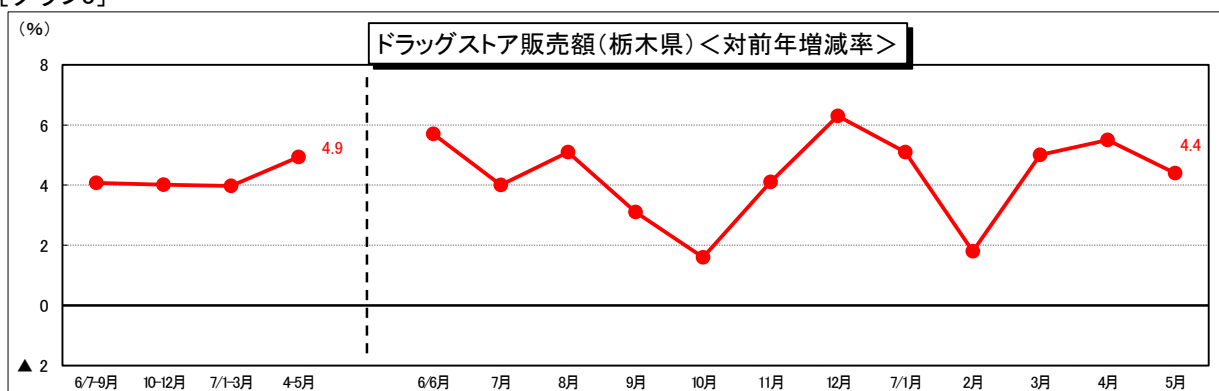
出典：「商業動態統計」(経済産業省)を加工 ※全店ベース

[グラフ2]



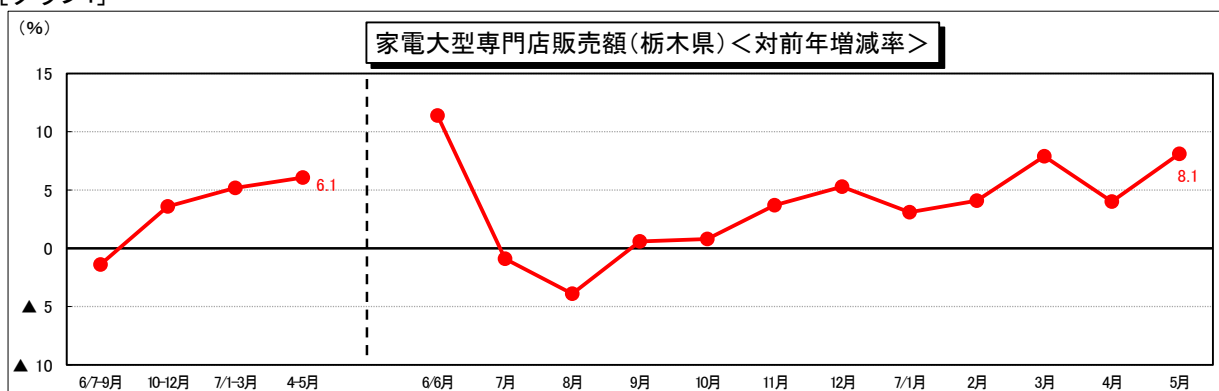
出典：「商業動態統計」(経済産業省)を加工 ※全店ベース

[グラフ3]



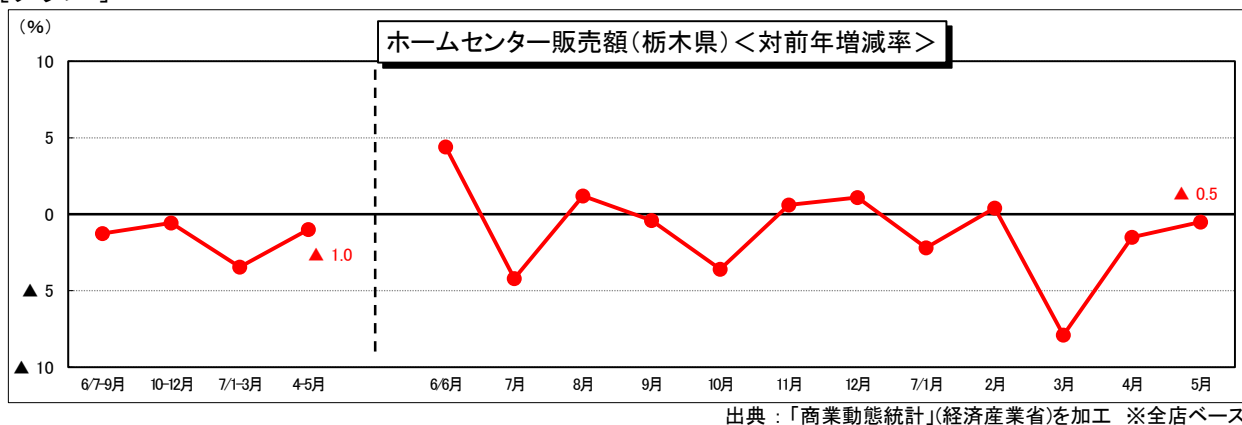
出典：「商業動態統計」(経済産業省)を加工 ※全店ベース

[グラフ4]

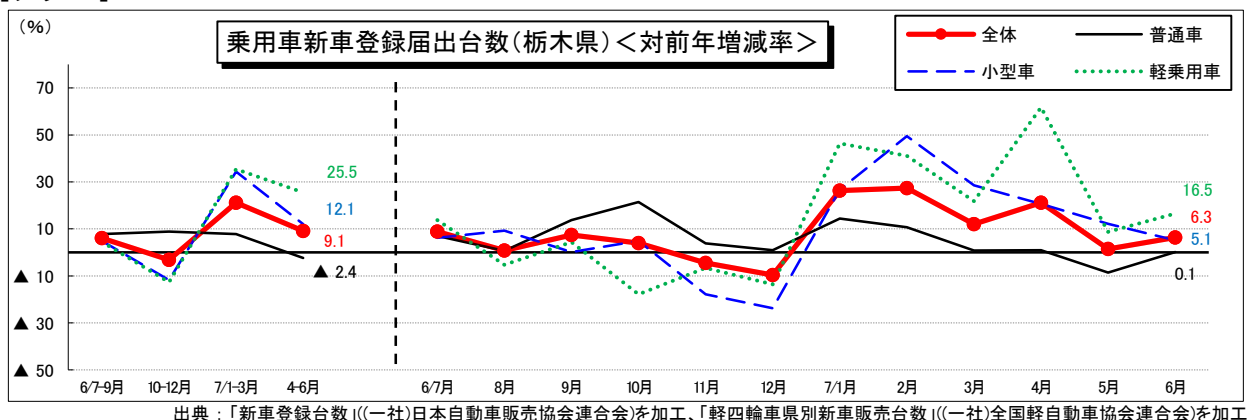


出典：「商業動態統計」(経済産業省)を加工 ※全店ベース

[グラフ5]



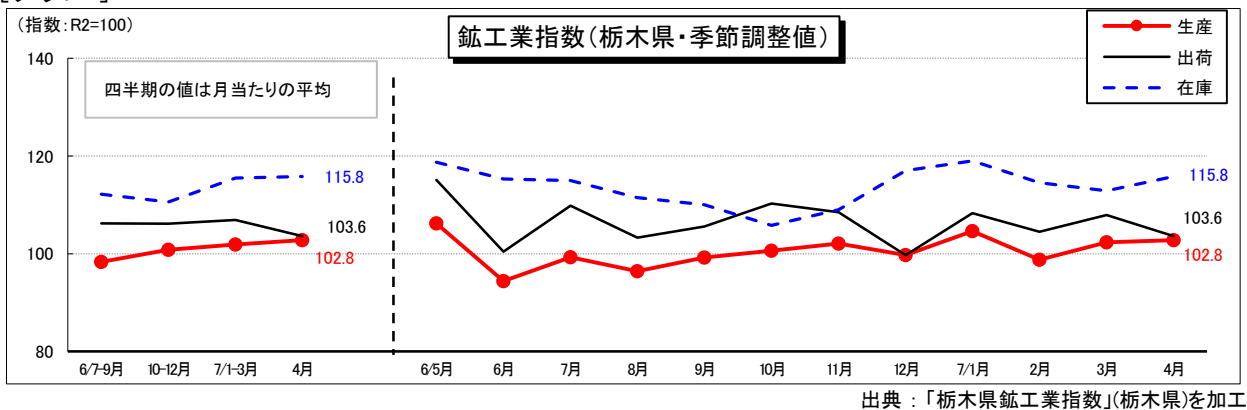
[グラフ6]



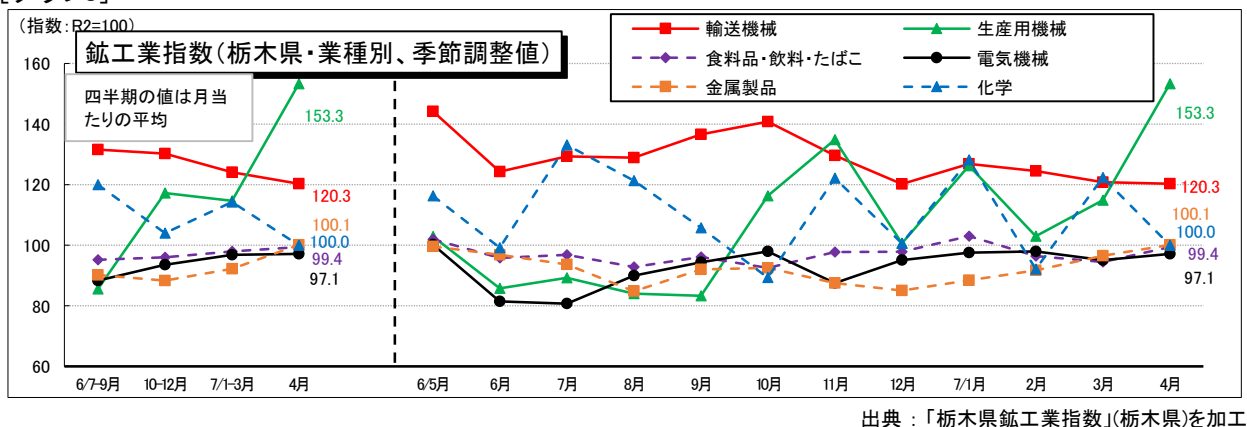
2. 生産活動

横ばいの状況にある

[グラフ7]



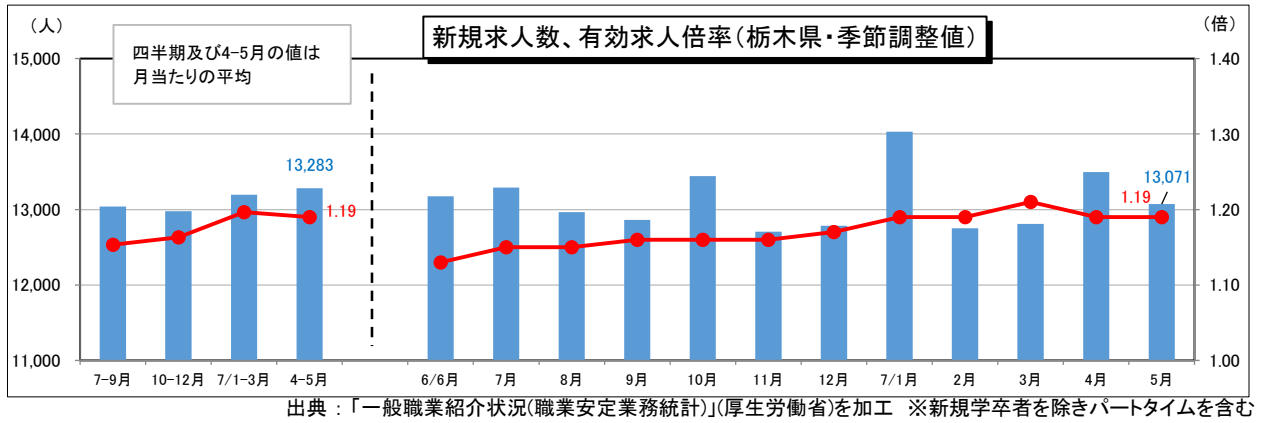
[グラフ8]



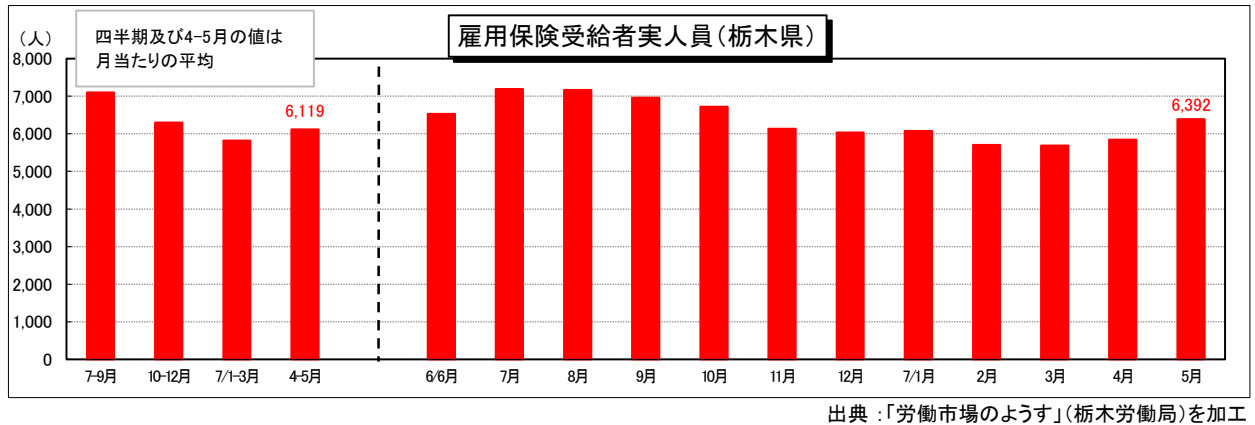
3. 雇用情勢

緩やかに持ち直している

[グラフ9]



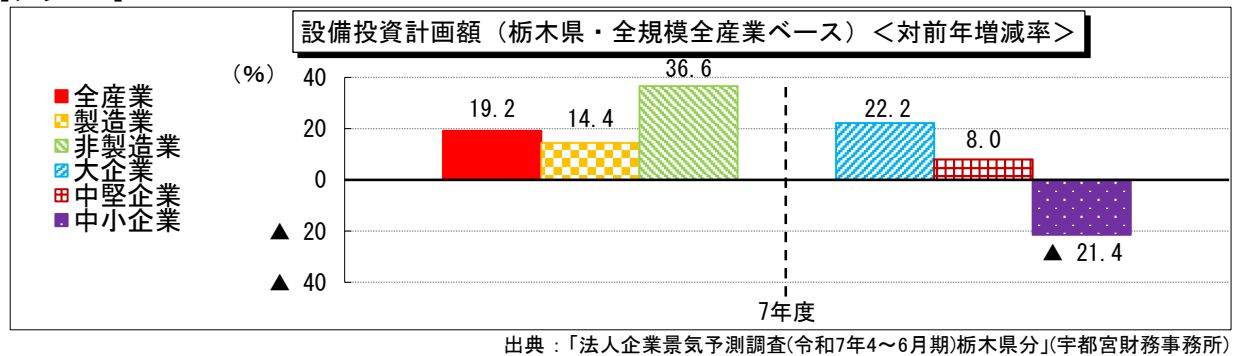
[グラフ10]



4. 設備投資

7年度は増加見込みとなっている

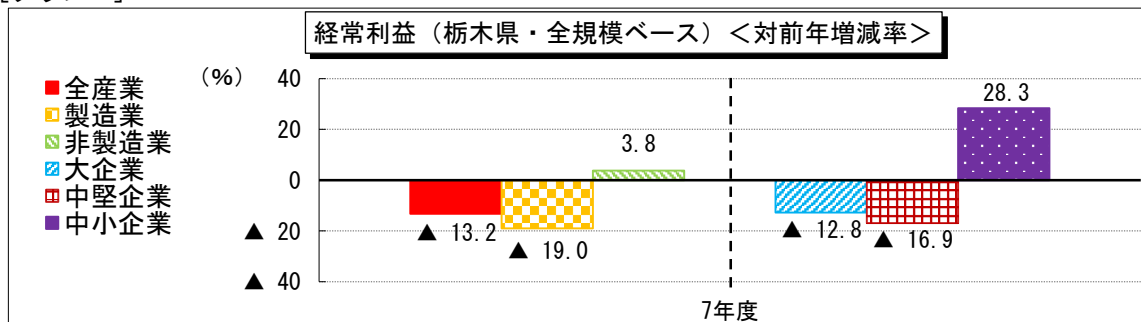
[グラフ11]



5. 企業収益

7年度は減益見込みとなっている

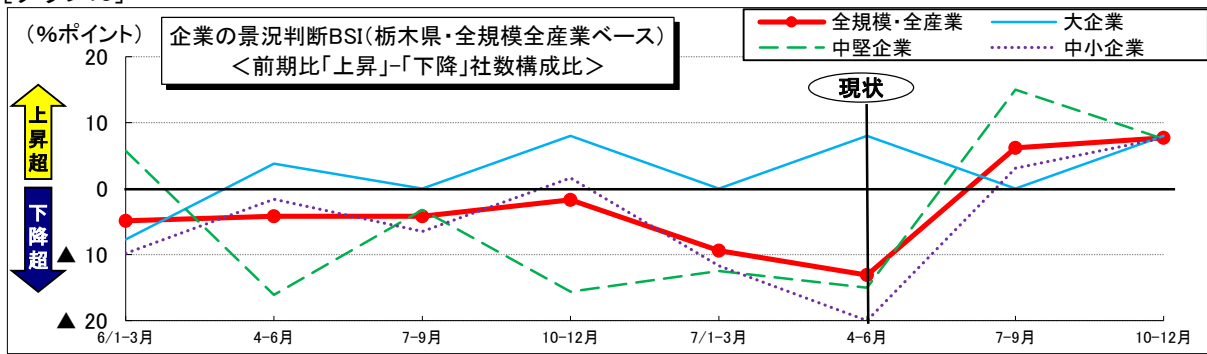
[グラフ12]



6. 企業の景況感

「下降」超となっている

[グラフ13]

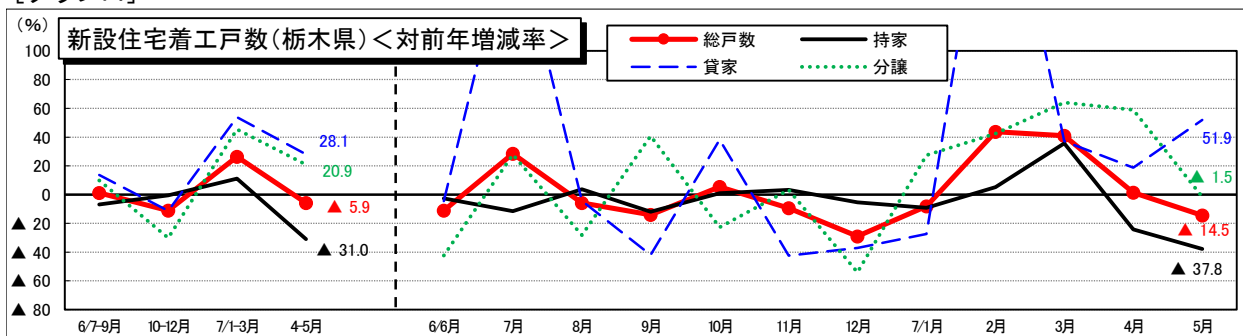


出典：「法人企業景気予測調査(令和7年4～6月期)栃木県分」(宇都宮財務事務所)

7. 住宅建設

前年を下回っている

[グラフ14]

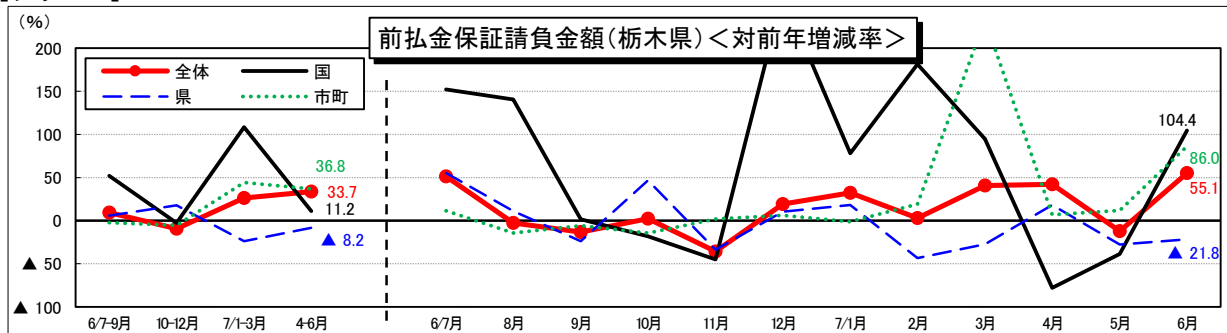


出典：「住宅着工統計」(国土交通省)を加工
(注)令和6年7月、令和7年2月の「賃貸」の数値は、それぞれ前年比+191.5%、+262.1%となっている。

8. 公共事業

前年を上回っている

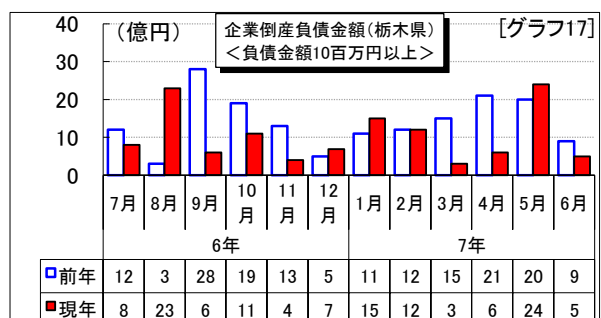
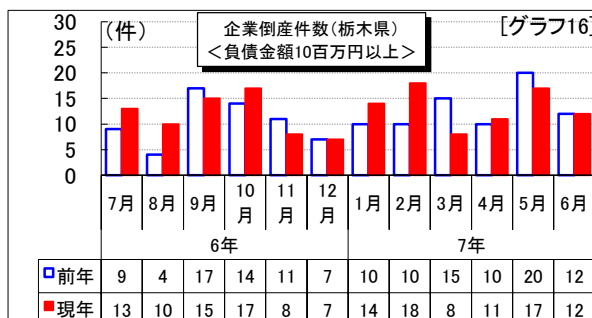
[グラフ15]



出典：「公共工事前払金保証統計」(北海道建設業信用保証㈱、東日本建設業保証㈱、西日本建設業保証㈱)を加工
(注)令和6年12月の「国」の数値は前年比+261.5%、令和7年3月の「市町」の数値は前年比+232.9%となっている。

9. 企業倒産

倒産件数及び負債総額ともに前年を下回っている



出典：「栃木県内企業倒産整理状況」(㈱東京商工リサーチ 宇都宮支店)を加工